

第26回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

・リニア工事による影響調査の情報や住民意見を共有し、リニア工事全般に関わる事項について連絡調整を行うことを目的に、JR東海、施工業者、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」が12月22日に交流センター於いて、関係者41名が出席し開催されました。以下に概要をお知らせします。

① 県発注工事について

・(主) 松川インター大鹿線について、実施中及び完了済みの箇所について説明がありました。



道路改良工事：調査・設計、用地補償



道路改良工事：盛土造成工事



防災対策工事：地質調査・測量設計



⑤電光表示板（東山トンネル）

道路情報提供設備：カメラ5基、電光表示板1基

※設置イメージ

・(国) 152号下樽渡橋の架替工事について、現在、橋梁設計が完了し用地測量、物件調査を実施しており、引き続き、現橋の撤去と下部工の工事を実施している説明がありました。

② 南アルプストンネル工事について

【小渋川非常口】

- ・本坑（品川方）の掘削を中断し、本坑（名古屋方）の掘削を開始します。
- ・小渋川非常口から掘削を進めた先進坑の一部区間において、石綿鉱物が含有されている蛇紋岩を確認しました。本坑（品川方）においても先進坑と同様に石綿鉱物が含有されている蛇紋岩が発生することが想定されるため、掘削作業（品川方）を一時中断し、準備を整えたのち、掘削を進めます。



小渋川非常口 施工状況

【除山・釜沢非常口】

- ・釜沢非常口からは、本坑（品川方）の掘削を進めています。
- ・除山非常口からは、先進坑（品川方）の掘削を進めています。

【発生土置き場の状況】

- ・発生土仮置き場 A（除山横）は、置き場を拡幅する造成工事を行っています。
- ・発生土仮置き場 B（三正坊）は、土砂の搬出工事を行います。
- ・発生土仮置き場 E（小渋川変電所予定地）は、土砂の搬入・搬出工事を行っています。

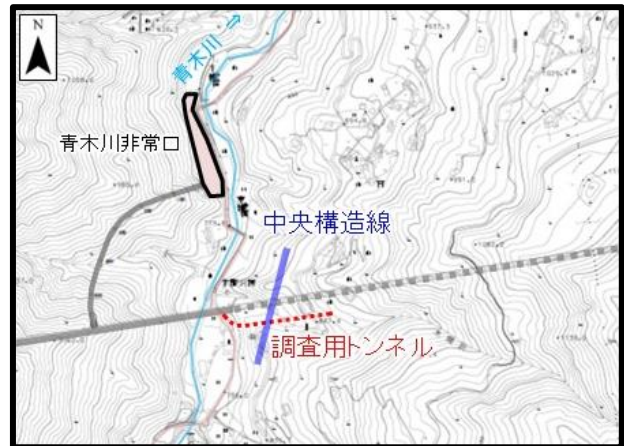


除山非常口 施工状況

③ 伊那山地トンネル（青木川工区）工事について

【青木川非常口】

- ・青木川非常口からは、本坑（品川方）の掘削を進めております。また、現在は民家下付近での掘削を行っていることから、作業時間を調整して工事を行っています。
- ・今後、本坑が通過予定の中央構造線部は、より安全に施工するため、本線トンネルに平行する小さい断面のトンネル（調査用トンネル）を施工します。調査用トンネルは埋め戻す計画です。
- ・深ヶ沢地籍の発生土置き場（青木川）は、11月で造成及び転落防止柵の設置などの工事が完了しました。



④ 工事用車両台数について

【工事用車両通行台数（大鹿村役場前）】

月別日平均 往復台数		2023年(R5年)				2024年(R6年)	
		1月～3月 予定	4月～6月 予定	7月～9月 予定	10月～12月 予定	1月～3月 予定	
資機材運搬		60	60	60	60	60	
発生土運搬	JR工事による 発生土運搬車両	伊那IC工業団地 (伊那市)	240	240	240	240	240
		上赤須 (駒ヶ根市)	140～160				
		中沢 (駒ヶ根市)			300	300	300
	半の沢道路改築事業への 発生土運搬車両		300	360	300	300	300
合計		740 ～760	660	900	900	900	

※「月別日平均」とは、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

- ・上記以外の運搬計画は、発生土活用先の計画が決定次第、随時お知らせをます。
- ・地元の皆様には、長期にわたり大変ご不便をおかけ致しますが、中央新幹線の建設および工事用車両の通行にご理解とご協力をお願い申し上げます。

■資機材運搬車両

月別日平均往復台数		深ヶ沢	下青木薬師堂前	沢戸橋	大鹿村役場前	半の沢	渡場交差点
資機材運搬車両 の工事による	R4.9実績	0.0	16.5	44.1	15.7	37.1	21.4
	R4.10実績	1.4	54.0	113.7	15.8	33.8	18.0
	R4.11実績	3.8	23.7	66.8	20.6	43.2	22.6
	R4.12実績	0.0	21.5	64.0	24.9	49.8	24.9
	R5.1~R5.3予定		30.0	80.0	60.0	110.0	50.0

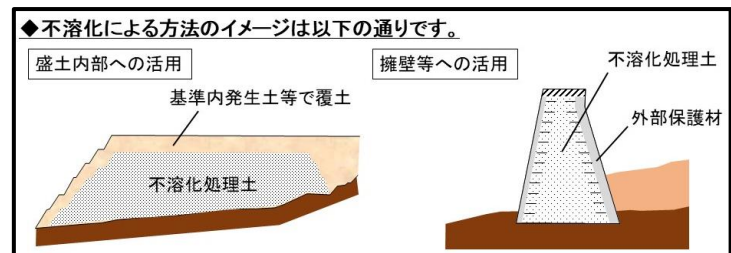
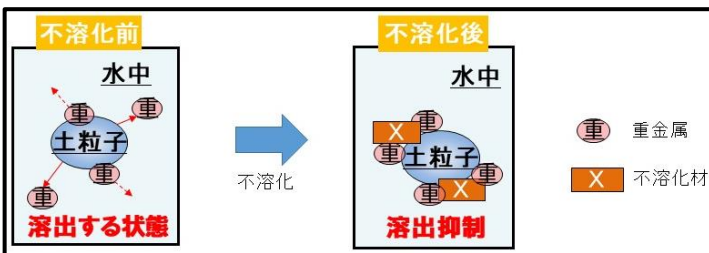
※R4.12の台数は12/15までの実績台数です。
 ※「月別日平均」とは、月延総台数を1月当りの工事稼働日で割り戻した数値です。

■発生土運搬車両

月別日平均往復台数		深ヶ沢	下青木薬師堂前	沢戸橋	大鹿村役場前	半の沢	渡場交差点
発生土運搬車両 の工事による	実績	R4.9	87.3	52.1	104.6	156.7	156.7
		R4.10	57.5	79.4	118.5	197.9	197.9
		R4.11	0.0	80.7	192.8	273.5	273.5
		R4.12	0.0	95.5	219.7	315.2	315.2
	① 予定	R5.1~R5.2		100.0~110.0	280.0~290.0	380.0~400.0	380.0~400.0
② 予定	R5.3		80.0	160.0	240.0	240.0	
高森町事業	実績	R4.9		57.2	164.8	222.0	222.0
		R4.10		0.0	136.2	136.2	136.2
		R4.11		2.5	92.0	94.5	94.5
	③ 予定	R5.1~R5.2			300.0	300.0	300.0
④ 予定	R5.3			360.0	360.0	360.0	
R5.1~R5.2 発生土運搬車両台数合計 ①+③			100.0~110.0	580.0~590.0	680.0~700.0	680.0~700.0	380.0~400.0
R5.3 発生土運搬車両台数合計 ②+④			80.0	520.0	600.0	600.0	240.0

⑤ 対策土の活用に向けた検討について

- 対策土と不溶化材を混合して、重金属等の溶出量を溶出量基準以下に低減する方法の検討をしています。

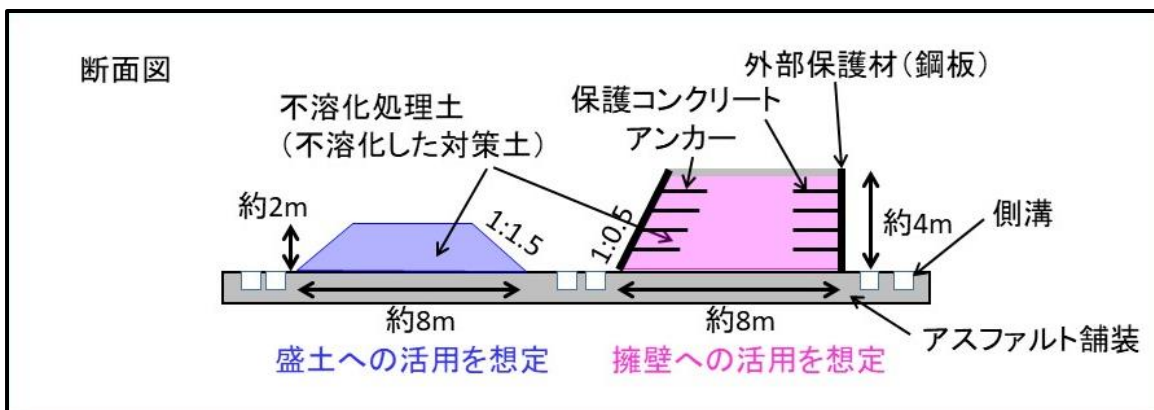


■不溶化持続性の確認（雨水曝露試験） 継続実施中

- 南アルプストンネルで発生した対策土に不溶化材・固化材を添加した試料で、屋外曝露試験を実施しています。バケツ内を経由した雨水をタンクに回収し、回収した雨水の重金属濃度を測定しています。

■強度や施工性等の確認（試験施工） 今後実施

- 検討会での有識者の助言を踏まえて、仮置き場Eにて試験施工を実施します。
- 試験施工は、実際の施工でも雨水曝露試験と同様の不溶化効果が得られるか使用する材料の条件や重機等の施工法を同様に行います。
- 不溶化効果のほか、構造物として活用に必要な強度や物性値等も確認します。



※不溶化した対策土に触れた雨水は、念のため、対策土仮置き場と同様にタンクに回収して、重金属等濃度を確認のうえ、排水処理します。

■今後の進め方

- ・試験施工については、必要な法令申請の手続き等を進めており、1月から準備を開始する予定です。
- ・対策土活用の検討にあたっては、有識者が参加する検討会を開催し、助言を得ながら実施してまいります（長野県にもオブザーバーとして参加いただいています）。試験施工を行いましたら、次回検討会を開催し、その結果の検証をする予定です。
- ・今後、リニア連絡協議会にて、検討状況等を適宜ご説明していきます。

⑥ 中部電力パワーグリッド工事について

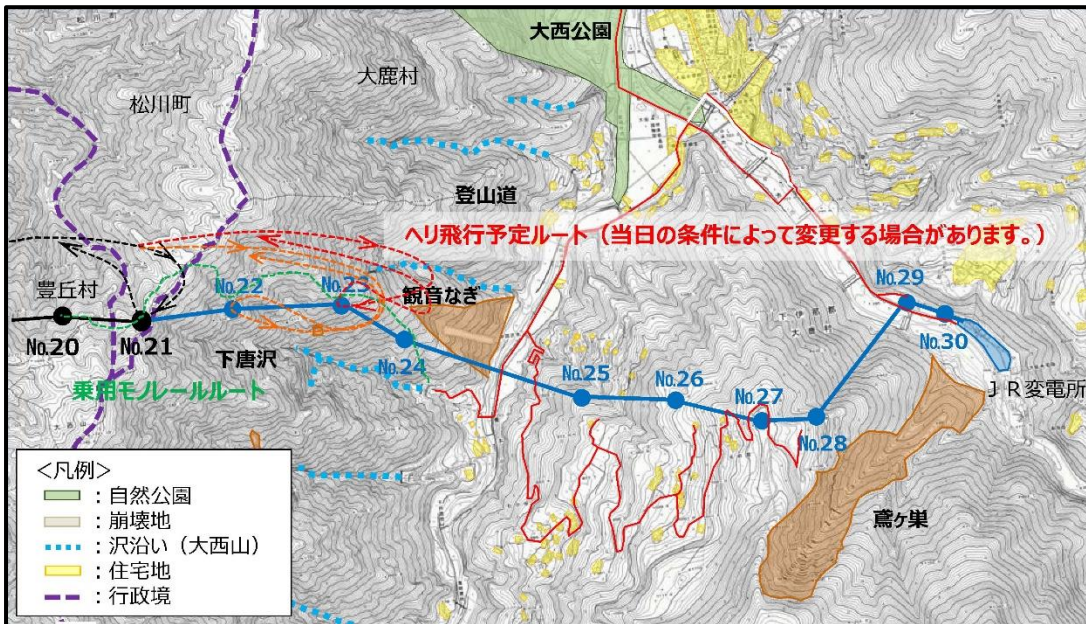
【送電線工事について】

- ・本体工事は、引き続きNo.22、No.24～26 鉄塔の基礎工事中です。No.23 鉄塔は、組立工事が完了しました。

■施工実績

工種	伐採	仮設	基礎	組立	架線	緑化
完了数	8基/9基	7基/9基	3基/9基	2基/9基	0径間/10径間	0基/9基
内訳	No.22～29	No.22～26,27,29	No.23,27,29	No.23,29	—	—

■ヘリ予定飛行ルート



<ヘリ運航時の配慮事項>

- ・できるだけ2基の運航日程を合わせて運航日数を少なくする。
- ・土曜日の運航は極力避ける。
- ・コンクリート打設時を除き昼休み時間帯は運航を避ける。
- ・祝日のヘリ運航については、イベントを考慮して決定させていただきます。

※天候や各鉄塔の施工進捗状況により、運航日数や回数は増減します（特にコンクリート打設）。

■2022年度ヘリコプターの運行計画（実績と予定）

月	実績							今後の予定	
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	12月	1月
運航日数	2日	4日	4日	10日	8日	4日	7日	1日	11日

- ・No.22、No.23 鉄塔の基礎・組立工事に伴い、ヘリコプターによる資機材の輸送を行います。
- ・2023年度は、6～12月にヘリ運航を計画しています。詳細は次回の連絡協議会で周知します。

○次回（第27回）開催日程等について

- ・次回開催時期を令和5年3月20日の週とし閉会しました。
- ・大鹿村リニア連絡協議会質疑応答概要を大鹿村ホームページに掲載しております。